

平成19年4月11日

CSRとしての社会貢献活動について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）は、CSR活動として下記の3団体に対する寄付等の社会貢献活動を実施しました。いずれも、創立70周年記念事業の一環として平成5年11月に開始し、毎年継続して行っています。

記

1. 「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会」へ寄付

3月27日に同協議会の善意銀行に対して285万円（累計2,359万円）を寄付しました。当金庫は横浜市及び横浜市周辺地区における社会福祉活動を助成し、社会福祉の向上に寄与することを目的に「よこしん社会福祉協力基金」を設立しました。基金には毎年1,000万円を積立て、現在1億5,000万円になりました。この基金の運用果実相当額を、在宅老人介護や障害者の方へのボランティア活動を行う個人及び団体に対する助成金として同協議会に寄付しています。

2. 「財団法人横浜市芸術文化振興財団」への協賛

4月4日に同財団が主催する「横浜美術館クラシックライブ」に対する助成金として200万円（累計3,000万円）を贈呈しました。当ライブは毎週土曜日の午後2時から横浜美術館のグランドギャラリーの美しい吹き抜けの空間を活かして、横浜在住の音楽家を中心とした出演者による生演奏を行っています。当金庫はこのような地域の文化事業のお役に立てるような協賛も行っています。

3. 「財団法人日本盲導犬協会」に対する助成

4月11日に同協会に対して盲導犬の育成費として300万円（累計3,100万円）を寄付しました。盲導犬の育成は寄付や募金等によってささえられており、財源が不安定です。また、盲導犬1頭を育てるためには、多額の費用が必要です。1頭でも多く盲導犬が育つことを願い、育成費の寄付を続けています。

以上

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗